

村上 穰嗣さん (鳥取県鳥取市出身)  
2017年度1次隊 青年海外協力隊  
派遣国：インド 職種：障害児・者支援  
2018年11月11日(日)中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 障がい者教育 試行錯誤

ナマステー(こんにちは)!

日本では「インドには自ら行くのではなく、インドに呼ばれた者が訪れる」といった神秘的な言葉を耳にすることがある。そんな私もインドの首都デリーに呼ばれてはや1年が過ぎた。

インドは圧倒的に懐が深い国だ。路上では牛や猿、犬、猫、豚などが人と共存。公用語であるヒンディー語のほか21の言語、2千もの方言、29の州がありながら人々はお互いの思想、宗教、民族の違いを尊重。協調して暮らしている。

急速に経済発展をしており、都市部では高級なショッピングモールや飲食店が多く存在する。一方、都市部を離れると市場や屋台、露店が住民の需要を満たしている。私はデリー郊外に住んでいるため、露店で食事をすることが多い。味は非常に美味しく、安い。

私は国立の障がい者施設で勤務している。孤児や道に迷った障がい者を保護しており、宿泊施設、教育施設、病院、職業訓練施設が併設されている。私は特別支援教諭として、生徒たち(子どもから成人まで幅広い年齢にまたがっている)に文字や数字、絵、スポーツを指導している。

言葉の壁や生徒たちの学習経験不足による集中力の欠如、教材不足といった課題を抱えているが、同僚と相談、工夫しながら、充実した教育をできるよう試行錯誤の日々だ。多くの生徒は孤独や心の傷を抱えている。そんな生徒にとって、太陽のような温かい存在でありたいと思っている。



職員の指導の下、絵を描く生徒たち